

## 館内利用案内

### ■利用できる人／原則として満18歳以上の方

※満18歳未満の方で関西館及び東京本館の所蔵資料の利用を希望される方には、個別にご相談に応じています。詳しくはホームページをご覧ください。

### ■資料の利用／館内利用のみ(館外への持ち出しはできません。)



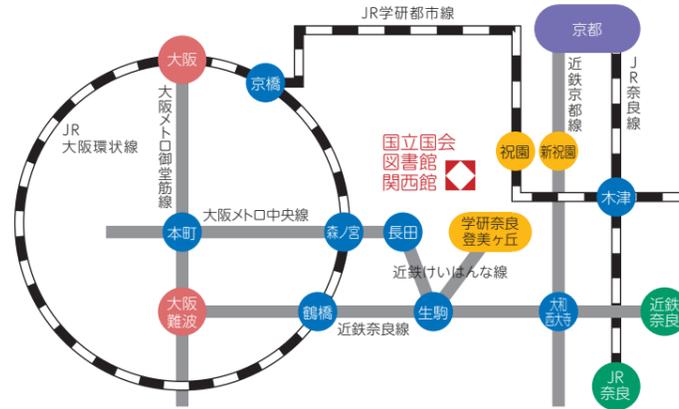
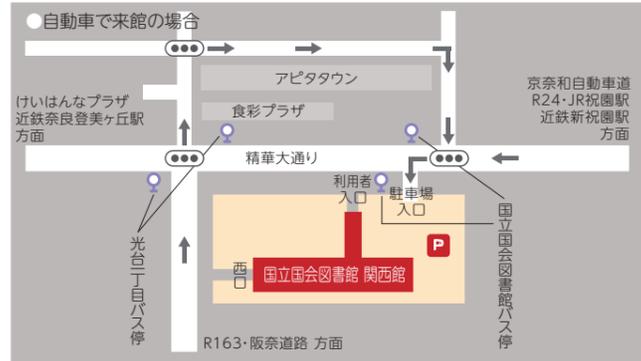
### ■利用時間

開館時間		9:30～18:00
閲覧サービス	閲覧時間	9:30～18:00
	書庫資料請求の受付(登録利用者のみ)	10:00～17:15
	資料取寄せの受付(登録利用者のみ)	9:30～17:30
複写サービス	即日複写受付	9:30～17:00
	電子情報の印刷(マイクロ資料の印刷を含む)	9:30～17:00
	セルフ複写受付	9:30～17:30
	後日複写受付(登録利用者のみ)	10:00～17:45
資料案内(レファレンス)		9:30～18:00
利用者登録受付		9:30～18:00

### ■休館日／日曜日、国民の祝日・休日、年末年始、毎月第3水曜日(資料整理休館日)

このほか、災害等の緊急時に臨時に閉館することがあります。この場合は国立国会図書館ホームページ等でお知らせします。

## アクセス



### ■公共交通機関によるアクセス

- 近鉄京都線「新祝園駅」・JR学研都市線「祝園駅」から  
奈良交通バス/36番系統「光台循環」  
56、58、59番系統「学研奈良登美ヶ丘」  
46番系統「光台三丁目」  
47番系統「ATR」  
「国立国会図書館」バス下車
- 近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」から  
奈良交通バス/56、59番系統「祝園駅」  
「国立国会図書館」バス下車

### ■駐車場／約200台駐車できます(無料)

国立国会図書館関西館

〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3

TEL.0774-98-1200 (代表、自動音声案内)

■ホームページ <https://www.ndl.go.jp/jp/kansai/index.html>



令和6年3月発行

国立国会図書館

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



# 国立国会図書館 関西館

Kansai-kan of the National Diet Library



## 関西館の設置目的 大規模収蔵庫であり、高度情報化社会に対応した図書館サービスの拠点です。

国立国会図書館関西館は、資料の収蔵スペースを長期的に確保し、高度情報化社会における資料・情報に対する需要に対応するとともに、近畿圏における大規模な調査研究図書館としての役割を果たすことを目的に、平成14(2002)年4月に京都、大阪、奈良の三府県にまたがる関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)に設置され、同年10月に開館しました。

## 関西館の基本的役割 国立国会図書館関西館には、三つの基本的役割があります。



資料提供



図書館協力事業



電子図書館事業



## 国立国会図書館とは？

国立国会図書館は、国会に属する日本で唯一の国立の図書館です。  
国会法第130条の規定に基づき、国立国会図書館法により設置されています。  
「議員の調査研究に資するため、別に定める法律により、国会に国立国会図書館を置く。」  
(国会法 第130条)

### 使命

「真理がわれらを自由にするという確信に立つて、憲法の誓約する日本の民主化と世界平和とに寄与することを使命として、ここに設立される。」  
(国立国会図書館法 前文)

### ネットワーク



### 役割

「図書及びその他の図書館資料を蒐集し、国会議員の職務の遂行に資するとともに、行政及び司法の各部門に対し、更に日本国民に対し、この法律に規定する図書館奉仕を提供することを目的とする。」  
(国立国会図書館法 第2条)

国会活動の補佐

資料・情報の収集・整理・保存

情報資源の利用提供

各種機関との連携協力



### カフェテリア

カレーライス、丼ものなどを販売しています。  
営業時間：11時～13時30分

### 総合閲覧室

代表的な概説書、参考図書、辞書、統計等を分野ごとに配置しています。

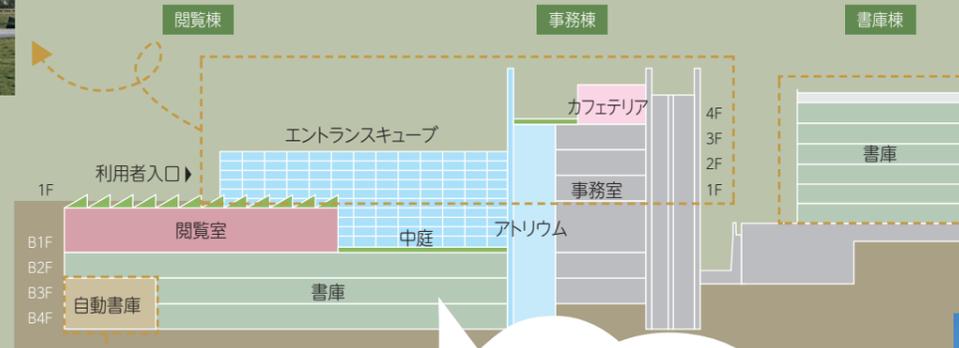
### アジア情報室

アジア言語資料等のうち参考資料や雑誌等を配置しています。

閲覧室



### 総合案内 アジア情報案内



### 関西館の書庫

- ①閲覧棟地下2階～地下4階
- ②書庫棟

関西館の所蔵点数 約1,900万点

### 書庫の環境

(目安) 温度：22℃  
湿度：55%



### 関西館の主な所蔵資料

- 外国雑誌、主要な国内雑誌、科学技術関係資料、国内博士論文、文部科学省科研費報告書、学術文献録音図書
- 国内外の参考図書・基本図書、書誌・目録、官庁出版物等
- アジア言語資料、アジア関係資料

### 東京本館の主な所蔵資料

- 納本制度により収集した国内の図書、雑誌、新聞、電子出版物
- 外国図書、外国新聞
- 専門コレクション：  
議会・法令資料、官庁・国際機関資料、古典籍資料、憲政資料、日本占領関係資料、地図資料、音楽・映像資料

### 書庫棟





## 資料提供

### 1 館内利用サービス



閲覧室の広さ  
約4,500㎡  
(100m×45m)

座席数  
約360

アジア情報室  
約3万冊

総合閲覧室  
約9万冊

閲覧室

★ 総合案内  
アジア情報案内

出納

閲覧申込

書庫 約1,900万点

閲覧棟  
地下2階～地下4階

+

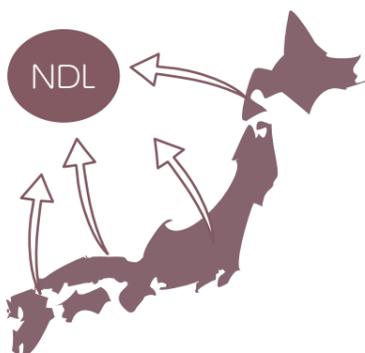
書庫棟

- 開架資料・電子情報の利用
- 所蔵資料の複写
- 研究室・共同研究室の利用
- レファレンス  
文献の調べ方や資料の案内、類縁機関の紹介等
- 書庫資料の利用・予約（要利用者登録）
- 東京本館・国際子ども図書館所蔵資料の取寄せ（要利用者登録）

当館の資料は、原則として満18歳以上の方であれば、どなたでも利用できます。

利用者登録申請には、住所・氏名・生年月日を確認できる本人確認書類（運転免許証、健康保険証等）の提示が必要です。

### 2 遠隔利用サービス



国立国会図書館は、来館せずに国立国会図書館所蔵資料を利用できる遠隔利用サービスも提供しています。お近くの公共図書館等を経由して国立国会図書館所蔵資料の図書館間貸出しや複写の申込みができます。また、利用者登録をすると、国立国会図書館サーチからの複写申込みも可能です。



国立国会図書館サーチ  
NDL SEARCH



## 図書館協力事業

国立国会図書館は、東京本館、関西館、国際子ども図書館の三施設で分担して図書館に対する協力事業を行っています。東京本館は図書館協力の方針の策定と、国際協力（文献提供サービス等は除く。）の窓口を担っています。関西館は、図書館協力（総合目録ネットワーク、レファレンス協同データベース、図書館及び図書館情報学の調査研究、研修交流、障害者サービスを実施する図書館への協力、ISIL（図書館及び関連組織のための国際標準識別子）の付与・管理等の実施と文献提供サービスの窓口を担っています。国際子ども図書館は、児童サービスに係る類縁機関、学校図書館等との協力業務を担っています。国立国会図書館では三施設が一体的に機能し、図書館協力事業の一層の充実を図っています。

### 1 協力ネットワーク

総合目録ネットワーク、レファレンス協同データベース等のインターネットを介した事業を企画・運営しています。データベースは一般にも公開しています。



レファレンス協同データベース  
Collaborative Reference Database



レファレンス協同データベース

### 2 図書館及び図書館情報学の調査研究

国内外の図書館及び図書館情報学の最新動向等を調査し、その成果を刊行物、メールマガジン等により公表しています。また、ウェブサイト「カレントアウェアネス・ポータル」で、刊行物の電子版やブログ記事等を提供しています。



CA Current Awareness Portal  
図書館に関する情報ポータル



カレントアウェアネス・ポータル

### 3 研修交流

国内外の図書館員を対象とした研修の企画・運営を行っています。受講者が会場に集まる集合形式の研修やインターネット環境を利用した遠隔形式の研修、各地の図書館が開催する研修会への職員の講師派遣等を実施しています。また、これら研修の実施を通じて図書館等との交流を進めています。

### 4 障害者サービスを実施する図書館への協力



みなサーチ  
国立国会図書館障害者用資料検索

みなサーチ（国立国会図書館障害者用資料検索）において、公共図書館などが製作した点字データ、DAISYデータ、テキストデータをダウンロードして利用できる「視覚障害者等用データ送信サービス」を提供しています。また、図書館等からの依頼を受けて、所蔵する学術文献の録音図書やテキストデータを製作しています。



# 電子図書館事業

国立国会図書館のインターネットを通じた電子情報サービスは、全体の企画、立案を東京本館が行い、関西館はそれに基づき、電子図書館に係る情報システムの開発・運営・調査、電子図書館コンテンツの収集、作成及び提供を行っています。

国立国会図書館はこれまでも新しい情報技術を積極的に取り入れ、様々な電子情報サービスを提供してきましたが、今後も、提供する電子図書館コンテンツを一層拡充するとともに、新しい技術を取り入れ、より使いやすいサービスを提供していきます。

## 1 電子図書館コンテンツ

国立国会図書館が所蔵する図書、雑誌等をデジタル化し、著作権処理を行ったものをインターネットで提供しています。著作権処理が済んでいないデジタル化資料は国立国会図書館の施設内でのみ提供していますが、そのうち絶版等の理由で入手が困難な資料については、承認を受けた公共図書館・大学図書館等で本文画像を閲覧・複写できます。同様に、登録利用者(本登録)で利用規約に同意された方も、ご自身の端末等で閲覧・複写できます。



国立国会図書館デジタルコレクション



## 2 インターネット情報の収集・保存

ウェブサイトを収集する「インターネット資料収集保存事業(WARP)」を行っています。国の機関、地方自治体、法人・機構、公益法人、大学、政党、イベント、東日本大震災に関するサイト等を収集しています。収集したウェブサイトのうち発信者からの許諾を得られたものは、ホームページを通じてインターネットで提供しています。また、インターネット等で出版(公開)される電子情報で、図書または逐次刊行物に相当するオンライン資料(電子書籍・電子雑誌)も収集し、提供しています。



インターネット資料収集保存事業(WARP)



# 統計 数字で見る国立国会図書館(令和4年度)

### 蔵書数

総計	4,685万5,998点
図書	1,211万3,354点
雑誌・新聞	2,036万1,088点
マイクロ資料	916万7,880点
録音資料	81万3,300点
機械可読資料(CD、DVDなど)	18万2,830点
地図	59万6,759点
文書類	43万8,370点

### 年間受入点数

総計	87万1,292点
図書	18万6,646点
雑誌・新聞	44万6,587点
マイクロ資料	16万3,479点
録音資料	1万1,458点
機械可読資料(CD、DVDなど)	9,461点
地図	3,783点
文書類	1万4,385点

### 収蔵能力

- 東京本館 1,200万冊
- 関西館 1,100万冊
- 国際子ども図書館 105万冊

※収蔵能力は、資料1冊あたりの厚さを3cmとして書架の長さから計算したものです。(国際子ども図書館は、資料1冊あたり2cmとして計算。)  
 ※関西館では、令和2年に完成した書庫棟(収蔵能力500万冊)に加え、今後も新たな書庫を段階的に整備し、将来的な収蔵能力は2,000万冊となる予定です。

### 国民に対するサービス

- レファレンス回答 50万513件
- 閲覧点数 165万2,421点
- 複写処理件数 122万147件
- 来館者 50万9,023人
  - 東京本館 33万4,626人(1日平均1,199人)
  - 関西館 6万7,188人(1日平均241人)
  - 国際子ども図書館 10万7,209人(1日平均377人)

### 関西館の所蔵資料数

(概数:令和5年9月現在)

- 図書
  - 和図書 310万5,000点
  - 洋図書 74万9,000点
- 逐次刊行物
  - 和雑誌・新聞 8万500タイトル
  - 洋雑誌・新聞 4万5,500タイトル
- 文部科学省科研費報告書 16万9,600件
- 国内博士論文 60万2,000人分
- 科学技術資料
  - 海外テクニカルレポート 264万8,000件
  - 海外博士論文 47万8,000件
  - 海外学協会ペーパー 20万5,000件
  - 欧文会議録 10万3,000件
  - 内外規格資料 17万2,000件
- アジア言語資料
  - 図書 50万6,000点
  - 雑誌・新聞 9,400タイトル

### 主な電子図書館コンテンツ

(概数:令和5年10月現在)

- 国立国会図書館デジタルコレクション(館内限定公開含む)
  - 図書 160万点
  - 雑誌 137万点
  - 古典籍 9万点
  - 博士論文 28万点
  - 新聞 11万点
  - 官報 2万点
  - 憲政資料 1万5,000点
  - 地図 2,000点
- 録音・映像関係資料 1万点
- 日本占領関係資料 12万5,000点
- プランゲ文庫 4万点
- 歴史的音源 5万点
- 他機関デジタル化資料 7,600点
- 電子書籍・電子雑誌 152万件
- WARP(インターネット資料収集保存事業)ウェブサイト 1万4,000種
- レファレンス協同データベース 30万8,000件